

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

Lifetime Empowerment（一生涯学び続け、一生涯成長し続ける学び舎になる）

売上高

8,250百万円

営業利益

606百万円

教育コンテンツ

19,000時間超

② 中長期の経営戦略

1. 法人向け人材育成の強化

次世代経営人材育成にフォーカスした「法人研修事業本部」を新設。カスタマイズ研修と公開講座の効率化で法人顧客ニーズに対応

3. オンライン高校事業の拡充

国際バカロレア（DP）のオンラインパイロット認可を日本初取得。アジア太平洋地域で唯一のパイロット校として事業展開

2. University事業の組織統合

BBT大学、BBT大学院、Bond-BBT MBAの3組織を統合し人件費抑制と事業効率化を図る。短期講座の大幅拡充で収益拡大

4. 国際教育市場への展開

幼児から高等学校まで国際バカロレア・ケンブリッジ国際の認定校を運営。文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局として普及を推進

③ 対処すべき課題

① 国際教育の普及拡大

- ・ 国内のIB教育ニーズに対応し、グローバルなIB展開を目指す
- ・ オンライン課程の拡大と新規校舎拡張で定員上限対策を実施
- ・ 文部科学省WWLコンソーシアム構築支援事業を受託し高等学校教育を支援

② 法人営業力強化と収益化

- ・ 日本企業の人材育成投資が低いという課題を打破する必要
- ・ 次世代経営人材育成プログラムの拡充で企業の人的資本経営を支援
- ・ 顧客企業の人事教育制度へのマネジメント教育プログラム採用を促進

③ AI時代への適応と人材確保

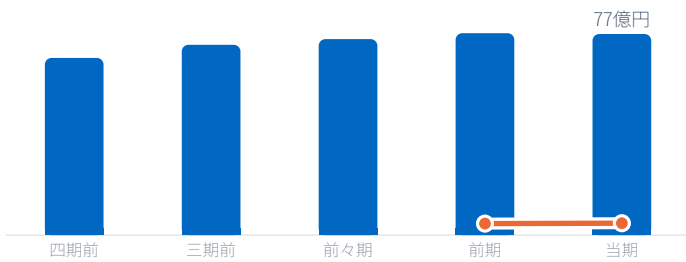
- ・ AIに代替されない構想力・リーダーシップ・問題解決力の育成
- ・ 個別最適化教育への根本的なシフトに対応したプラットフォーム進化
- ・ 優秀な起業家的人材の確保と企業カルチャー・ミッション共有化

面接で使えるポイント

- ・ 幼児から経営者まで全年齢層を対象に、AIに代替されない本質的な力を身につけた世界で活躍するリーダー育成を一貫して提供
- ・ 国際バカロレア・ケンブリッジ国際の認定を有する国内唯一の教育機関として…
- ・ 19,000時間超の教育コンテンツとAirCampus®というオンライン学習プラットフォームを活かし…

証券コード 2464

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

1998年4月に設立された教育・人材育成企業

主力事業・セグメント

- ・プラットフォーム 54.8%
- ・Recurrent教育Progr 45.2%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
77億円営業利益率
5.9%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
637万円

サービス業内 202位/524社

平均年齢
44.9歳

サービス業内 73位/527社

平均勤続
9.1年

サービス業内 164位/527社

女性管理職
36.4%

サービス業内 59位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 29位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

